

(様式)

令和3年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

・歌唱の際、向かい合って指導できるよう電子ピアノを購入し、授業の向きを変更したことで、生徒がより指揮者を意識して歌うようになった。

・幅広いジャンルのCDやDVD、楽器などを活用し、音を意識した学習を深めることができた。

(2) 課題

・生徒が自主的に活動できる環境を整えるとともに、思考力・判断力・表現力等がより向上する授業改善を図る。

・ICT機器やタブレット端末を効果的に活用し、主体的に学習に取り組める授業改善を図る。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・楽譜へ注意事項を書き込み、見て分かる楽譜作りを定着させる。	・音楽の構造と曲想の関連に注目できるワークシートや板書、ICT機器の活用を図る。	・ワークシートを使い、自己評価と他者評価を通して自分が練習するポイントを明確にし、進度を教師と共通理解できるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・楽譜へ注意事項を書き込み、見て分かる楽譜作りを定着させる。 ・歌唱など技能の自己評価にタブレットなどの録画機能を活用する。	・表現と鑑賞の学習をリンクさせ、音楽的な視点から内容を深める。 ・学習の定着や振り返りにICT機器を活用する。	・ワークシートを使い、自己評価と他者評価を通して自分が練習するポイントを明確にし、進度を教師と共通理解できるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・楽譜へ注意事項を書き込み、見て分かる楽譜作りを定着させる。 ・歌唱など技能の自己評価にタブレットなどの録画機能を活用する。	・音楽を多角的にとらえ、多様な音楽を理解するために、ワークシートやICT機器などを活用し、実際に歌唱や器楽などで表現できる環境を設定する。	・ワークシートを使い、自己評価と他者評価を通して自分が練習するポイントを明確にし、進度を教師と共通理解できるようにする。